

平成22年
8月20日発行

『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、様々な行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。



銀座8丁目の交差点付近に残されている親柱。汐留川はちょうど高速道路と同じ方向に流れていた...



昭和13年の新橋。親柱が写真右に見える
※モノクロ写真は「増補 写された港区 - (芝地区編)」
(編集・発行：港区教育委員会)より転載

そして昭和7年(1932)、新橋は初めて当時の芝区の町名となり、昭和40年(1965)に現在の住居表示の町名になったものの、橋自体は昭和39年(1964)、川の埋め立てのために消失しました。町は大きく変化し、川も橋も現在では見る事ができなくなりましたが、かつて多くの人利用した「新橋」は、町の名として今でも人びとに親しまれています。

かつて、アーチ橋が架かっていた...

「新橋」その名の由来

新橋演舞場や新橋花街があるのはその名残です。それが港区(南側)の地名になったのは、明治5年(1872)に日本の鉄道起点新橋駅(現東新橋の旧新橋停車場)ができたためと考えられています。

第16号の表紙は
新橋 エリアの
話題です



かのぼる非常に古い橋の一つといふことになり。そして、宝永7年(1710)ころから橋の付近、とくにその北側の地を「新橋」と呼ぶようになりました。今も橋北の中央区に

オフィスビルや商業ビルが立ち並び、多くの人でにぎわう新橋ですが、町名は、その名のおり「橋の名前」に由来しています。
「新橋」は汐留川に架けられた橋で、「芝口橋」とも呼ばれていました。現在は、橋の形はすっかり失われ、橋があった場所の上には埋め立て前の川なりに高速道路が走っています。
汐留川はその昔、江戸城を築く際、外堀の一部として埋め残した川で、新橋はそのときに架けられたといわれています。新橋とはいうものの、その由来は江戸時代にさかのぼる非常に古い橋の一つといふことになり。そして、宝永7年(1710)ころから橋の付近、とくにその北側の地を「新橋」と呼ぶようになりました。今も橋北の中央区に新橋演舞場や新橋花街があるのはその名残です。それが港区(南側)の地名になったのは、明治5年(1872)に日本の鉄道起点新橋駅(現東新橋の旧新橋停車場)ができたためと考えられています。



info
新橋の親柱跡
新橋1-6(銀座8丁目
交差点)付近

色に託して願いを掛ける...

からずもり
〜「烏森神社」は心癒される場所〜

烏森神社に「心願色みくじ」というカラフルなおみくじがあるということで、宮司の山田さんにお話を伺いました。
「心願色みくじ」は烏森神社独自のもので、願い事の内容によりおみくじと「願い玉」の色が違います。色は恋愛・良縁運は赤、金運は黄色、家内安全・健康は緑、仕事・勉強は青の4色があり、とても鮮やかです。新橋の真ん中という立地ゆえ神社周辺は防火地域に指定されており、社殿も周囲の建物同様コンクリート造りになっています。そこに「彩り」を入れようと、カラフルなおみくじを始めたそうです。
運は目に見えないものですが、神社に向いて何かを願ったり、家族の安全を思ったりすると、人と人のつながりを感じるきっかけが神社で見つけられるかもしれません。また、お願い事を持つということは未来に希望を持つことにもつながっていくような気がします。色には心を癒すセラピー効果がありますからお花がたくさんある境内でお参りして、「色みくじ」をひいて、お守りを持つことは癒しのひとつといえるかもしれません。
烏森神社の場所が武蔵国桜田村と呼ばれていた古い時代、この辺りは江戸湾の砂浜で松林が広がっていました。そのためこの地帯は「枯州の森」などと呼ばれていました。また、松林にはカラスがいたため「烏の森」と呼ばれるようになり、烏森の地名が定着したともいわれています。その後、明治以降昭和7年(1932)まで町名は烏森が使われていまし

た。現在、地名は「新橋」になり、JR新橋駅烏森口にその名が残っています。また、烏森神社が港区のちいばすのバス停となったのでにわかに地名が復活したようにも思えます。「新橋駅のすぐそば、様々な人が訪れてくれる神社でいろいろと新しい試みをして、受け入れていただき地域との密着性を高め、地域の活性化につなげていきたい」と宮司の山田さんは話します。
参道には参拝者のためのお休み処があり、あんみつやとろろ、ランチもいただけます。ここで健やかな心で人を思いやる気持ちを高めたら、見えないものの力が運を引き寄せてくれるかもしれません。「烏森神社では港区のこの場所から新しい神社の文化を発信するべく、季節ごとに行事ののびりをかけ、皆様のお越しをお待ちしています」とのことでした。

[文 ■ 小林 真紀子]
(写真提供：烏森神社)



info
烏森神社
新橋2-15-5

4色の「心願色みくじ」には「願い札・願い玉」が付いています



港区で
楽しむ
アート
10

横山大観のすさまじい思いを感じる「霊峰富士」

日テレタワー
2階ロビー



日テレタワーの2階ロビーは自由に見学できます

汐留に建つ高層ビル日本テレビタワーには、アニメーション作家の宮崎駿氏デザインの「日テレ大時計」の見学者やイベントに参加する親子連れに加えて修学旅行生等が見られ、ビジネスマンの姿が多い汐留の中では異彩を放っています。その2階ロビーの壁に、横山大観の「霊峰富士」があります。
一枚の越前和紙に描かれた縦254.5cm横455.5cmの超大作で、まるで航空機の窓から見たように、雪を頂いた富士山が雲を突き抜けてどっしりと在ります。平成15年(2003)4月同ビルが落成した時、グループ会社の読売新聞社から提供されました。

この作品は昭和14年(1939)10月、読売新聞社の新社屋落成を記念して5階講堂の正面壁面に飾られたもので、読売新聞10月4日付朝刊には「(前略)幅三間半縦二間の大額いっばいに大観画伯の雄渾無比な筆力は霊峰の真姿をあますところなく表現し、芸術の香気はその大画面に高雅な光りを透へ見るものをして胸中一脈の清爽高潔の気を生ぜしめる絶品である。(後略)」とあります。また、大観は「この画を生涯の大作として後世に残したいと考へ慎重に筆をおろし精根をつくして描きあげた」と話しています。
明治元年(1868)に生まれ、日本初の官立美術学校に第1回生として学び、昭和33年(1958)に没した横山大観は、明治・大正・昭和と日本の近代化の中で波乱万丈に生きた日本を代表する画家です。大観は生涯に千点以上の富士山を描いています。

「(前略)富士を描くということは、富士にうつる自分の心を描くことだ。心とは、ひきょう人格にほかならぬ。それはまた気品であり、気はくである。富士を描くということは、つまり己れを描くことである。(後略)」 (横山大観・談「私の富士観」朝日新聞昭和29年5月6日付朝刊)

雲の上に端然と立つ富士山の姿を見ていると、全力を尽くして「富士」を描くという大観のすさまじい思いを感じました。

[文・写真 ■ 岩崎 秀頭]

info
日本テレビタワー
東新橋1-6-1

新橋にトンネルがあるって本当ですか？



写真・図：東京都第一建設事務所蔵

愛宕通りから桜田通りに抜ける愛宕山のトンネルは有名ですが、昼夜問わずサラリーマンでにぎわう新橋の中心地近くに現在地下トンネルが掘られています。まさかこんな都心ど真ん中、と思われるかもしれませんが、そのまさか起きています。

新橋から虎ノ門までの環状第2号線は、全長約13.5km、地上部40m幅の道路とその下を平行して走る地下トンネルが着工され、すでに第一京浜交差点の地下トンネルが完成し、日比谷通り交差点部ができています。工事を施工している東京都第一建設事務所の方は、「ご近所の皆様には騒音やご不便など、大変ご迷惑をお掛けし、またご協力いただいております」と話していました。環状第2号線完成の際には、歩道幅の広い、緑のある地上部道路と、地下トンネルは片側2車線の通行空間となります。

この辺りは縄文時代は海で、現在は東京の都心部だけに難しい工事です。第一京浜道路の下には都営浅草線の地下鉄が、日比谷通りの下には都営三田線の地下鉄が通っており、地下トンネルはこれらとほぼ十文字に交わるので、交差点のトンネル工事は深度調整が大変なのです。環状第2号線の地上部道路と地下トンネルの間隔はどのくらいで、さらに地下鉄との順番はどうなっているのでしょうか。

調べてみたところ、第一京浜交差点部では、環状第2号線地

上部道路と地下トンネルとの間隔は約1mで、その下を地下鉄が通るようになっています。（※地上部道路と地下トンネルとの間にはさらに上下水道管、ガス管などの埋設管が入ります。）

日比谷通り交差点部では、環状第2号線地上部道路と地下トンネルとの間と同じく約1mで、地下トンネルと都営三田線との間には共同溝(上下水道、ガス、電気、通信などの管やケーブルを共同で収容する地下設備)が入り、地上部道路、地下トンネル、共同溝、地下鉄の順になっています。現代の技術の粋を集めて安全を図りながら、絶妙な深さでそれぞれを交わらせているのです。東京都によれば、環状第2号線道路の地上部と地下トンネル部の整備は平成25年度(2013)に完成を見るところです。

60年余にわたって街を分断し、未完といわれた環状第2号線を抱え込みながら、新橋、虎ノ門の街は発展してきました。しかし、この新しい道路の着工とともに、地元の方に協力を得ながら、新橋、虎ノ門地域の一部に新しい街づくりが始まりつつあります。暮らしやすい豊かな地域になってほしいと思います。

〔文■森明〕

info 環二工事事務所
新橋4-24-4
TEL 03-3578-0217

オランダ王国大使館 訪問記



緑あふれるオランダ王国大使館の中庭

日本との友好関係は400年にも…

2008年が日蘭修好通商条約締結150周年、そして、2009年が徳川幕府により日蘭貿易が開始されてから400周年という記念すべき年になることから、2008～09年には「日本オランダ年」として日本中が300を超えるイベントでにぎわったことを記憶されている方も多いことでしょう。

今回は緑あふれる高台にあるオランダ王国大使館にて、報道・文化補佐官のパス・ヴァルクスさんにお話を伺いました。



報道・文化補佐官のパス・ヴァルクスさん

しかし、オランダは地理的にイギリスに近く、また日常生活においても英語の使用頻度が高いことが日本の状況と異なるようです。またオランダ語は、英語と同じゲルマン語系に属し、さほど苦勞せず習得できるのがうらやましい限りですね。

第二外国語としては、欧州の各言語であるドイツ・フランス・イタリア語などの人気が高く、日本語を専門的に学ぶ学科があるのは、ライデン大学のみだそうです。

政治、経済、王室について

東京に一極集中している日本と異なり、オランダはアメリカやオーストラリアなどのように、政治・経済・文化機能を巧みに分散させています。首都アムステルダムは、もちろん文化の中心であり、王宮も置かれています。政治機能はデン・ハーグに集中しており、国際司法裁判所が設置されていることでも世界的に名高い都市です。

そしてロッテルダムなどの貿易港から、オランダが誇る半導体などの電子部品、軽油、タバコ(イギリスのタバコ「マルポロ」の工場はオランダにあります)、球根・切り花などが全世界において出荷されています。

日本企業のオランダへの進出も目覚ましく、300社を超えるそうです。

国民と王室との関係も大変良好で、君主(現在はベアトリクス女王)は内閣閣僚へのアドバイスなども行い、オランダ皇太子殿下も私企業の役員をされるなど、日本の象徴天皇制とは役割が異なるようです。

EUの中心軸としてのオランダと今後

EU(ヨーロッパ連合)創成期よりその運営に深く関わるオランダはマーストリヒトやデン・ハーグなどで国際条約が締結、国際機関が設置されるなど、EUの中心メンバーです。今後モータールー市場を形成するEUとオランダの動向には我々日本人も目が離せません。

さて、オランダは先ほどの貿易品目で挙げた工業品のみならず、実はデザイン先進国でもあります。「うさこちゃん」といえばお分かりでしょうか？ そう、愛くるしいうさぎのミッフィーの生みの親はオランダ人のディック・ブルーナ氏です。実は今回、ヴァルクスさんはこの柄のネクタイでさそうと登場されました。日本の銀行のマスコットキャラクターに採用されたこともあるのですよ、と話すときほほえみながらヴァルクスさんの笑顔が印象的でした。

〔文■小知和 千佳子〕



これは「日本オランダ年2008-2009」を記念して描かれたオランダの絵本作家ディック・ブルーナのオリジナルイラストで、公衆により命名された「ニコくん」は日蘭親善大使として活躍しました。Illustrations Dick Bruna © Mercis bv, 1953-2010 www.miffy.com

info オランダ王国大使館
芝公園3-6-3

芝の食文化

江戸名産の伝統ある保存食品



暑い日が続くとおいしい佃煮をのせたお茶漬けが何よりのご馳走ではないでしょうか。佃煮は佃島が発祥であることはよく知られています。天正18年(1590)に徳川家康が江戸に移るに際し、大坂の摂津西成郡佃村の名主、森孫右衛門と漁師34人を呼び寄せて日本橋に住ませ、江戸城の食料を賄うため江戸湾沿岸の漁業権と特別の保護を与えました。そして家光の代(寛永年間)には鉄砲洲東の干潟を埋め立て、佃島を造り天領にして漁師たちをここに定住させたのです。

江戸湾は遠浅でプランクトンが多く豊かな漁場でした。特に冬から春先にかけて大川(隅田川)に群生する白魚は特別の高級魚で、江戸城御用達として漆箱に入れて献上されました。夜な夜な篝火をたいて漁をする様子は江戸の風物詩の代表になり、「月も朧に白魚の、かがりも霞む春の空…や、こいつあ春から縁起がいいわえ〜」と、江戸歌舞伎にも演じられたほどでした。

佃島の漁師は江戸城へ献納する魚の量が決まられていて、余ったものはいかにしてもよいとの許可が下されたので小魚、貝類、海藻、野菜豆類など食材を広げ塩やひしおで煮詰めて江戸市中で売りました。

この煮物が安くておいしいうえ、保存がきくと評判が広まりました。

やがて諸国の大名や武士たちが参勤交代の時にその煮物をお土産に選び、江戸の名産品「佃煮」として全国に知られるようになっていきました。また正保3年(1646)に大阪の住吉大社の分霊を移した佃島の住吉神社では、幕末ごろまで祭りの日に参拜者に御神酒と佃煮を出して振る舞いました。

佃煮の老舗「新橋玉木屋」は、天明2年(1782)、田巻七兵衛が寺のお坊さんから雁豆(岩手産)の煮方を教わり「元祖坐禅豆」と名づけて現在地で開業したのが始まりです。店の名は出身地越後の南蒲原郡、通称玉木村の名をとって玉木屋としました。坐禅豆とは、豆の中央が少しくぼんでいるので坐禅を組んだ足に似ているところからそのように言い、歯ごたえがあります。黒豆の煮汁はのどによいとされ、お稽古前の芸者さんがよく買っていったそうです。

その後3代目が、天秤秤を担いで雑魚類を売り歩いている魚屋から雑魚類を仕入れ、佃島で名物になっている佃煮からヒントを得て独自の製法を開発し、店の中の工場で煮たのを売り出しました。当時は濃いめのしつかりした味付けでしたが、時代とともに少しずつ



あじの佃煮ふりかけ(夏季限定)写真右、坐禅豆(江戸以来のロングセラー)写真左下、葡萄あざり(和歌山県有田地方特産で葡萄の房よりなる山椒の実とあざりの佃煮)写真左上



本店を取り仕切る河野鎮平店長

つ味付けも変化させています。

「佃煮は中高年の方には馴染み深い食品なのですが、若い人の中には普段あまり口にしない方もいらっしゃる。そのためイタリア風やタイ風グリーンカレー味など洋風のふりかけを開発したところ、若い世代のお客様にも広がりをみせています」と、田巻恭子営業本部長。佃煮としては画期的ないちじくを煮詰めたグラッセなど、ジャンルにこだわらず、あらゆる食材を使った商品開発を日々研究されているそう。江戸っ子の舌を魅了し、現在も東京の味として幅広い層から親しまれている佃煮の今後の進化が楽しみです。

〔文■千葉 みな子/写真■張南 光輝〕

※河竹黙阿弥・作三人吉三藤初買!大川端の唄
参考文献：『善徳江戸時代の犬八や丸食』(田井支季子 著/農山漁村文化協会 1989)、『江戸美味い物語』(平野雅章 著/廣済堂出版 1995)、『日本大百科全書 15』(小学館 1944)

info 新橋 玉木屋
新橋1-8-5
TEL 03-3571-7225

芝活人

さまざまな分野で活躍されている芝地区の皆さんをご紹介します

昭和の薫り漂う新橋路地裏 そこには人生の悲哀を包み込む、 ギターの音色がありました

歌手・作曲家としてCDデビューも

はがくにひこ 芳賀 邦比庫 さん

新橋で7歳の頃から移り住んだ芳賀邦比庫さんは、幼少から音楽好きだったお母様と共にラジオから流れるメロディーに心躍らせ、14歳で12弦ギターの独習に着手しました。プロデビューを目指し、当時一世を風靡したジャズ喫茶銀座ACBを拠点とする人気ロック歌手守谷浩氏のかばい持ちを学んだ邦比庫さんは、その後カントリーソングで活躍していたトミー・藤山氏のお手伝いをしながら、ヨーデルも勉強しました。

そんな下積み時代を経てもなかなか夢は花開かず、一度は音楽から離れた様々な職に就きながらも夢をあきらめず、昭和47年(1972)から新橋で12弦ギターの流しとして活動を始めました。カラオケ導入のサラリーマンの接待向けの割烹なども多数存在し、焼肉で有名な「徳寿」の裏手には黒塚小路があり、幹筋で働く方々の静かなたすまいの邸宅が並んでいたそうです。

時代としては経済も右肩上がり。花柳界も飲食店も、そこに集うお客たちもお遊びの暗黙のルールの下、少し頑張って背伸びをして過ごす…栄華を誇った、そんな時代の新橋を教えていただきました。

定し、文部科学省等にも今後売り込んでいきたいと、夢は確実に広がる芳賀さんです。

16歳から流しの世界一本道

すがけいしろう 須賀 慶四郎 さん

一方、「ケンちゃん」こと須賀慶四郎さんはたびたびメディアで紹介されたので存じの方も多いのではないのでしょうか？ 昭和37年(1962)16歳の頃から流しの世界一本道、世間の表も裏もまた悲哀も知り尽くし文字通り波乱万丈の人生を歩んできた。渋谷・恵比寿・三軒茶屋で流しの世界に入り、三千曲以上覚えることができた

と誇りに、5年をはかると言われる流しの厳しい修行期間を経て、大好きな新橋にて昭和42年(1967)晴れて一本立ちを果たしました。修行中は、大先輩北島三郎氏のお誘いで千葉真一主演の映画に流しとして出演するなど、あらゆる経験を積んだ時期でもありました。

黄昏時の新橋に出て、お呼びがかかるとギター片手に悠々と路地を歩き数曲のメロディーと歌声を運ぶ毎日。流し一筋、「流ししかたことがない」という、やんわりとした、しかしいっすな確固たる信念に、感激し共鳴する人々が須賀さんの周りに集うのだと感じました。煙をくゆらせ人懐っこい笑顔で、人生最大の財産はお客様と自分をかわいがって



こいち祭りステージに立つ(左から)芳賀さん、大木さん、須賀さん

れるお店の人だと語ったケンちゃん。同行させて頂いた路地裏裏ではお店やお客はもろもろのこと、通りがかりの人から「ケンちゃん」と笑顔で握手を求められる大人気者です。お店では歌と笑いを織り交ぜて大盛り上りの演出をし、全身から奏でられるメロディーでお客を酔わせ活力を与える、そんな須賀さんの包容力に時間の経過を忘れました。

それぞれの生きざまでも新橋路地裏文化にかかわってこられたお二人は、7月22日の「こいち祭り」では演歌歌手大木綾子さんとステージに立ちました。

芳賀さんは「生命惜しみます」、須賀さんは「鳥森流しを熱し、それぞれ自身が作曲した持ち歌を順調に、夜には桜田公園で芳賀さん作曲の「七福神音頭」を大木さんが歌い、盆踊りが行われて大盛況のステージでした。

今ではすっかり様子が変わった鳥森通りにもまだまだ昭和のよき時代の人情味あふれる空間が存在し、人々のたくさんの悲喜をもふわり包み込むお二人のギターの音色に何とも言いえない人生の味わいを垣間見た瞬間でした。

〔文■天津 由理香/写真■張南 光輝〕

あの頃、戦争があった



中嶋弘さん・房子さんご夫妻は、お二人とも桜田小学校の卒業生です(弘さんは昭和12年〔1937〕入学、房子さんは昭和18年〔1943〕入学)。お二人は現在も「語り部の会」のメンバーとして、港区の小学校の依頼で戦争体験談を子どもたちに話して聞かせるなどの活動をされています。

今回はお二人に戦争当時の状況や、疎開、空襲、そして、まちの復興のお話を伺いました。

弘さんのお話

戦時中は芝地区で授業を受ける

私の場合は疎開に行かず、戦時中もずっと芝地区にいました。当時私は正則中学の生徒でしたが、戦争中も授業はあり、週1回は日比谷公園でゲートルの巻き方や銃剣の使い方を生徒みんなで練習していました。銃剣は学校に置いてあったのです。

今もなお体内に残る爆撃の破片

まだ戦争が始まって間もない頃、新橋駅から電車に乗って神田まで本を買いに行ったことがありました。その時たまたま敵機の空襲に遭い、有楽町駅で降りて避難していたところに爆撃を受けました。私の体内には今でもその時の爆撃による破片が入りこんでいます。当時はまだ焼夷弾による空襲は始まっておらず、恐らく敵機が試行的に行ったものではないかと思えます。

強制疎開の命令も受けた実家の外食券食堂

実家は「外食券食堂」(外食券*持参者に食事を提供するように政府に指定された食堂)だったので、戦時中もそんなに食べ物に困ることはありませんでした。仕入れのとき、米俵などをリヤカーに積んで町中を歩いていると、周囲の人からうらやましそうに見られたこともあります。お店は芝口一門(現在の汐留の角)の駅前にあったのですが、強制疎開(防空対策として行政命令により強制的に行われた疎開)により立ち退き命令が出て、田村町1丁目(現西新橋)に移りお店を再開しました。

空襲後の実家周辺は一面焼け野原

空襲のときは家族で日比谷公園に避難しました。周囲に火の手が上がり、明るく日の朝、家に戻ると一面焼け野原でした。その時愛宕山に避難した友人から聞いた話によると、愛宕山から新橋が燃えているのがよく見えたということです。情報が公開されていなかったため、当時の戦況については全く分かりませんでした。天気予報すらなかったのです。今考えるととても恐ろしいことです。

実家の食堂も焼けてしまったため、空襲後は外食券食堂組合の中で戦火を免れたお店の手伝いをして働きました。

焼土で再開した家業の食堂

空襲で焼けたところに「田村町食堂」としてバラックで再開し、戦後の開発による立ち退きに遭うまで、田村町1丁目でお店を営んでいました。父親が、空襲で焼けた電柱とタン板を使ってバラックを建てていたことが今でも記憶に残っています。

インタビュー ● 中嶋弘さん 房子さんご夫妻

二度と起こしてはならない戦争の語り部として...

房子さんのお話

父と別れて疎開した思い出

私は昭和19年(1944)、小学校2年生のときに茨城の笠間に母親とともに縁故疎開しました。母方の父が行商をしていたこともあり、笠間で家を買って庭に畑をつくって何とか生活できましたが、集団疎開した他の同級生は疎開先では食糧が乏しく、多くの児童が栄養失調になりました。

疎開中は月1回疎開先に来る父を笠間の田舎駅で長時間待っている時がいちばんさみしかったのを覚えています。戦争中は、徴兵されたり疎開したりして、どの家も家族全員がそろうことはありませんでした。

大使館との商いもあり、憲兵の監視を受ける

父は当時、「室内装飾裁縫業」と呼ばれる職業に就いていました。建物から光が漏れて空襲の時敵機の目標にならないように、小学校や病院などの公の建物にはすべて暗幕が使用されており、父はその暗幕を作る作業所を営んでいたのです。田村町3丁目(現在の新橋3丁目)の吉本加工所という作業所です。

大使館内の装飾品も製作していたため外国人の人ともつながりがあったので、自宅にはラジオなど当時珍しいものが置いてありました。それを憲兵が監視しにきて、悪いことをしていないのにとでも嫌な気持ちになったのをよく覚えています。父の工場で働いていた奉公人たちは皆徴兵されたと聞きました。奉公人たちはフィリピンなどの南方に行き、半分くらいは戦死してしまっただけです。

空襲を受けて実家周辺は焼け野原に

空襲で実家周辺の地域は焼け野原になりました。父の工場を手伝っていた兄は、建物が燃える中、工場のミシンを守ろうとミシンを窓から投げ捨てていったそうです。不発の焼夷弾も投げ捨てたと聞きました。今の新橋駅付近は火の手が強く、花火のようだったと兄は話しておりました。

終戦4年目に港区に戻ったものの...

戦争で生き延びた人は復興のために精一杯努力しました。小学校3年生で終戦を迎え、私が疎開先から港区に戻ってきたのは中学校1年生のことで、当時校舎もなかった芝浜中に通いました。

私が東京に戻ってきた頃には戦後の復興も進み、終戦直後に見られた新橋駅前の中野市もおさまっていたものの、まだ町は落ち着いた状況ではなく、新橋では毎晩のように火災が起きていたことを記憶しています。

お二人からのメッセージ

子どもたちに伝えたいこと...

最近では戦争を知らない世代が増えました。子どもに暗い戦争の話は聞かせたくないという親も少なくないと感じます。戦争があったということさえ知らない若者もいるということを知ることがあり、とても寂しく思います。

当時の話をすると、子どもはとも興味を持ってくれます。戦時中、食べ物がなく辛い思いをした話をすると、次の日から子どもが給食を残さなくなったと担任の先生から報告をいただいたこともありました。子どもたちは純粋な気持ちで聞き、受け止めてくれます。周りの大人は子どもたちが戦争体験の話に触れる機会をもっと多くつけてほしいと思います。

二度と戦争は起こしてはならないという私たちの想いを、これからの世代にも引き継いでいってほしいと強く願います。

*外食券...第二次世界大戦時および戦後の主食の統制下で、政府が外食者のために発行した食券



空襲の主力となったB-29戦略爆撃機による爆撃投下(National Park Service-Disclaimer)

空襲を受ける東京市街 ("Tokyo burns under B-29 firebomb assault." May 26, 1945. *Copyright : US Army Air Forces (PD-USGov-Military-Army))

終戦の日特集

8月15日、終戦の日。東京では、昭和19年(1944)11月~20年(1945)8月まで122回、延べ4,800の爆撃機から爆弾11,000発、焼夷弾389,000発が投下され、10万人余が死傷、300万人が被災しました。戦後65回目の終戦記念日。ここに「平和を願う」記事を集めました。



鎮火後の街の風景(石川光陽(1904-1989)が撮影)

*モノクロ写真はすべてフリー百科事典「ウィキペディア」より



SiBA Review. 平和の灯 復興の中の映画館

65年目の夏。平和よ永久に

◆昭和20年(1945)5月25日夕刻にB29爆撃機500機から渋谷、港、中央、中野一帯に投下された爆弾・焼夷弾で3,000人が死亡し、18,000人以上の重軽傷者を出した。港区青山5丁目体験したM子さん(当時10歳)の手記には、「ものすごい数の焼夷弾が降って台風のように火と風が吹き荒れた。翌朝、一面焼け野原、数時間前まで生きていた人が防空壕や道端で誰が誰が分からなくなった焼死体となっていた。踏まないで歩くのは大変、やっと家の近くまでくると、父が茫然と立っていた。お互いに死んでしまったと思っていたから、無事を喜び合い抱き合ってた」とある。そして、世界初の原子爆弾が8月6日に広島、9日に長崎に投下された。

◆戦中・戦後の暮らしを語る者も高齢化し、少なくなっている。新橋駅での鉄道切符や闇物資を求めリユウクの列、ガード下で暮らす戦災孤児、傷痍軍人の妻で軍歌、そしていや応なしのDDT(ノミシラミなどの殺虫剤)の白き洗礼を話しても今の人は理解できない。

戦争が心まで破壊し、その修復に映像の魔術師達が挑戦した。再び自由に映画を作れる喜びで監督の指示の下に俳優が演じ、カメラマン、大道具、結髪、録音、進行等の裏方が支えた。昭和29年(1954)~32年(1957)の娯楽の中心は映画、一人平均で月1回は観ていた。港区も全盛期には映画館は13館を数え、今も営業を続けているところもある。「映画館」の大看板とスピーカーからの流行歌で暮らしの中に平和の喜びが伝わってきた。夏は暑く、冬は寒い、固い椅子、立ち見で触れ合う肩にも文句を言う者はなかった。映写機のカタカタと規則正しい乾いた回転音と光線のかなたに笑い、泣き、そして失われた感情を取り戻した。銀幕の衣装やセリフを真似、海外の豊かな暮らしに夢を膨らませた。



(撮影 ■ 佐藤 剛志)

現在中野区を跨いでいる新橋文化劇場新橋3-25-19

さんしょうとうろう

「山椒大夫」「近松物語」と古典文学を大胆に映像化することに成功した。戦時中には禁止されていた洋画であったが、アメリカからは「波止場」「偽りの花園」、そして「ローマの休日」では女性の美しさと紳士ぶりために息をついた。フランスからは「嘆きのテレーズ」「恐怖の報酬」「陽気なドン・カミロ」「裁きは終りぬ」「しのび逢い」「禁じられた遊び」と映像と大胆なストーリー展開、そしてその音楽に酔った。イタリアからは「道」「鉄道員」に暮らしを重ねさせ

平和を願う甲冑が御成門小によみがえる!



戦死された森本氏のお母様が、戦争の恐ろしさを伝えたいと寄贈された「家宝」の甲冑

事の起こりは、平成21年(2009)9月にNHKテレビで放映された鞘絵小学校のお別れ会を見て、「鞘絵小の校舎が解体されると、森本邦夫が寄贈した鎧・兜はどうなるのでしょうか」と心配された森本邦夫氏の弟さんからの教育委員長あての手紙でした。

森本邦夫氏は、東京帝国大学2年の時、学徒動員で海軍に入隊し、昭和20年(1945)5月フィリピン方面にて22歳の若さで戦死された鞘絵小の卒業生です。その死を悼み、「若くして国のために命を落とした卒業生がいたこと、戦争の恐ろしさを鞘絵小の後輩も知ってほしい」というお母様のお気持ちから、約40年前に森本邦夫氏の名前で家宝の甲冑が寄贈されました。この時のことを弟で

ある波多野良昭氏は、「鎧・兜が板に書いた兄の経歴とともに、校長室の応接間に飾られ、公開の日には在校生、父兄、同窓生その他多くの方が参列した」と記憶されています。

波多野家の実家は戦前神谷町の仙石山(現虎ノ門5丁目)にあり、良昭氏のお母様をはじめ、邦夫氏を含む兄弟3人、長姉が鞘絵小の卒業生ということです。(邦夫氏は入隊後に親戚と養子縁組をしたため、森本姓になっています)

鞘絵小の資料室に置かれた鎧は胴内部の鹿革が切れ、木の陳列用の心棒が劣化で歪んでいたため、胴の部分が前に出てしまい、兜もさびついでいて、そのままでは展示できる状態ではありませんでした。ただ、寄贈者の「戦争を知らない後輩に戦争の悲劇を伝えたい」という想いからも、処分してしまうことはできないと判断して、校舎解体に際し鞘絵小の卒業生でもある株式会社日本刀剣社長伊波賢一氏に修繕を依頼しました。その結果見事に美しくよみがえった鎧・兜を、幸いにも鞘絵小の統合先である御成門小が引き受けてくれることになり、めでたく2階ホールに納められました。

鞘絵小卒業生の集まりである鞘絵会や教育委員会、御成門小の方々をはじめ、多方面のご尽力のもとによみがえった甲冑ですので、エピソードとともに戦争の悲惨さ、恐ろしさを考えきつかけにさせていただけたらと思います。学校が開いている時に、受付に申し出れば見学できるとのことです。

(文 ■ 伊藤 泰子)

◆ 兜・鎧について ◆

㈱日本刀剣社長 伊波賢一氏のお話

兜は室町時代後期の明珍作。これは個人の名前ではなく、代々兜を作製する専門集団一族の総称です。兜の鉄の部分が残り、それに合わせて江戸時代に鎧が作られたと考えられます。鎧の後ろに見える旗は戦いの時、敵・味方がわかるように立てられた旗印です。

info 御成門小学校 芝公園3-2-4

参考文献「鞘絵会資料(波多野氏の手紙含む)、港区教育委員会・御成門小資料

た。イギリスからの「エヴェレスト征服」「ロミオとジュリエット」では映像美に魅了された。

◆世界中が平和をテーマに映画を制作した。「原爆の子」もその例になる。サンフランシスコ平和条約が締結される昭和26年、石川先生が被爆した教え子・敏子(12歳)を見舞う。敏子は余命いくばくもない。「お父さんやお母さんは?」「みんな死んじゃったんです。(略)うちね、先生、いつまでも平和が続きますように、神様をお願いします」「えいわ」「ねえ、先生、戦争が悪いことは、うちがいつもう知っているような気がするんです。戦争はみじめです」



◆65年前に一瞬にして命を落とした者、余命を承らえた者、その平和の願いが永久になろう芝公園の一角にも「平和の灯」がほのかに灯りを放っている。

(文 ■ 佐藤 剛志)

参考文献:「昭和の戦争記録—東京目黒の住民が語る—」(若波書店 1991)

虎ノ門JTビル

テンセグリティ(Tensegrity)とは…? テンション(張力)とインテグリティ(統合)を合わせた造語*とのことですが、ちょっと難しそうですね。棒と糸で構成される三角形が組み合わさったような構造体の中で、棒同士はそれぞれ触れ合わずに、糸のテンション(張力)によって結びついて、立体を作ることができます。そのため、棒が宙に浮いているような不思議な印象を受けます。

この原理をアメリカの建築家・思想家であるバックミンスター・フラーの弟子ケネス・スネルソンが、アートとして表現したおもしろい作品が虎ノ門JTビルにあります。今回は虎ノ門JTビルで取り入れられているいくつかの試みにご紹介いたします。

■開かれたアーバン・オアシス(注1)

敷地内には緑豊かなオープンスペース(注2)が広がり、本を読んだり、お弁当を食べたり、思い思いに過ごす人びとの姿を目にすることができます。建物内の明るく開放的なアトリウム空間(注3)は、誰もが自由に出入りし、憩うことのできる場となっています。このように一般の人びとに開放され、パブリックスペース(注4)として憩いと安らぎを提供しているアーバン・オアシスは、企業のイメージに則したデザインコンセプト(注5)となつています。

■アートと建築のコラボレーション

外堀通りに面したオープンスペースに設置されているケネス・スネルソンの作品は、パイプ(圧縮力)とワイヤー(張力)のバランスの中に、緊張感を存在させ、ゲートの役割を果たしています。アート



(注1) アーバン・オアシス …… 都市の憩いの場
(注2) オープンスペース …… 空いたゆとり空間
(注3) アトリウム空間 …… 室内に設けられた、天井の高い、大規模な中庭のような空間
(注4) パブリックスペース …… 一般に開放されている公共の空間
(注5) デザインコンセプト …… 意匠概念
(注6) ルーバー …… 建築物の開口部に設け、雨や日光をさえぎるためのもの
(注7) ランニングコスト …… 維持管理・稼働費用

*参考文獻: ジェイゴールドウィン著 梶川泰明訳『バックミンスター・フラーの世界』p118-p121 (美術出版社 2001)

虎ノ門JTビルの前にある、パイプとワイヤーの張力のみで構成されるアート

(写真提供: 日本たばこ産業株式会社)

上空からビル全体を望む



リウム空間の中庭の水盤に浮かぶマルタ・パンの作品は、風に流されて自由に移動する大小ふたつのピースが、空間全体に動きを与えています。一般の人びとも利用できる2階ホール「アフィニス」に至る通路壁面のアートワークは片山利弘氏の作品で、色鮮やかな青緑のパネルが別世界への誘いを演出しています。これらは、建物設計の初期段階から空間にふさわしいイメージが求められ、作家と協働することによって、建築空間を補完し、作品と空間とが一体となるよう計画されています。

■環境に配慮した設計

オフィス空間の窓まわりを見ていくと、外部熱負荷を軽減し、オフィスフロアの室温を安定させる二重窓と、自然換気が可能な機構があることに気がつきます。また、アトリウム空間の上部ガラス付近にはルーバー(注6)が設置され、明るさを取り込みつつ日射を遮蔽しています。これらの機構は、空調ランニングコスト(注7)の削減につながり、省エネルギーを目的としています。

街と建築をゆるやかにつないでいるこのような試みは大変興味深いものでした。オープンスペースにたたずみ、冒頭のテンセグリティを眺めていると、このアートが語りかけていることはなんだろうと、様々な考えが頭をめぐります。パブリック・アートとして街の中に存在する作品と人びとの間には、企業の壁を超えた対話が生まれています。

(文 ■ 日尾 佳世)

info 虎ノ門 JTビル 虎ノ門2-2-1

芝次郎の園芸講座

8月下旬頃、切り戻しや植え替えを行って株を若返らせましょう!

バーベナの切り戻しと植え替え

バーベナは別名を美女桜(ビジョザクラ)と呼ばれ、花の形はサクランボに似ています。花色も豊富で、赤、ピンク、紫、青、黄、白と多彩です。可憐な花とは似合わず丈夫で、伸び放題の株も8月下旬に手入れをすれば、秋には元気になり、霜が降りる頃まで咲き続けます。

こんな株に切り戻し・植え替えが必要!



切り戻し

- 1 茎枝が伸びてきたら、葉を数枚残して半分くらいに思い切って切り戻します。
- 2 切り戻した株元の近くから、1週間〜10日でわき芽が伸び始めます。
- 3 わき芽がまとまった形に茂り、9月下旬頃には再び多数の花が咲き始めます。



植え替え

(残葉が濃いときは、株に急なダメージを与えないために切り戻しの後、わき芽が動き出してから植え替えましょう)

- 1 周りの根をぎ取るように、長く伸びた根を古い土と一緒に思い切って切り落とします。
- 2 一回り大きな鉢と用土を用意し、プランターより株を少し高く植えつけ、たっぷり水を与えます。
- 3 新しい根が張り、9月下旬頃には再び多数の花が咲き始めます。

花を長く楽しむためには、こまめに花がら摘みを行いましょ!



大使館で取材した郷土料理

オランダ

「エルテンスープ」 ERWTENSOEP

(えんどう豆のスープ)

今回のレシピは、オランダ王国大使館で紹介していただいた「エルテンスープ」です。時間がたつとより味がなじみ、煮返してもおいしいので、このスープは一度にたくさん作ってしまうそうです。材料も手に入りやすいものなので、ぜひお試しください!



【材 料】(6人分)

- ベーコン …… 約100g
- 粗引きソーセージ …… 4〜8本
- えんどう豆(冷凍グリーンピース) …… 約300g
- たまねぎ …… 1/2個
- にんじん …… 1/2本
- じゃがいも …… 2個
- セロリ …… 1/2本
- 固形コンソメスープ …… 2個
- 調味料「塩・こしょう」 …… 少々
- 材料「ローリエ」 …… 1枚
- 水 …… 1リットル

【作り方】

- 1 薄切にしたベーコンとたまねぎをフライパンで火が通るまで炒めます。
- 2 スープ用の鍋に1リットルの水を入れ、固形コンソメスープ、それぞれ約2cm角に切ったにんじん、じゃがいも、セロリと①、えんどう豆(冷凍グリーンピース)を調味料とともに中火で約30分煮ます。
- 3 ローリエを取り出してから②をブレンダー(ミキサー)にかけ、粗いポタージュ状にします。
- 4 一口大に切った粗引きソーセージを③のポタージュスープに入れ、約5分弱火にかけて、できあがり!



*本場オランダでは「乾燥したえんどう豆」を使用しますが、「えんどう豆」か「冷凍グリーンピース」で代用します。

「芝の家」日記

■4月 アロマテラピーハンドマッサージ

4月から、芝地区総合支所の区民課保健福祉係と協力して、アロマテラピーハンドマッサージを毎月実施することになりました。トレーニングを受けたボランティアさんが施術してくれ、ふんわり良い香りに包まれてのマッサージはとても心地良いものです。マッサージを受けたあとは皆さんリラックスした気分になるようで、終わった後もちやぶ台でゆっくりお茶を飲み、おしゃべりをしていく人がほとんどです。子育てや介護にがんばるお母さんが息抜きしたり、近所の人同士が情報交換したりする時間になっています。

■5月 囲碁ブーム到来

芝の家には前から碁盤と碁石があったのですが、プレーヤーがいなかったため、なかなか出番がありませんでした。それがこの春から、年輩のTさんと男性スタッフ数人を中心に囲碁熱が高まりつつあります。スタッフはTさんから手ほどきを受け、修行中です。囲碁のルールがわからない人たちは五目並べをして楽しんでいます。小学生に大人が負かされてしまうこともあって、油断はできません。囲碁ブームはまだまだ続きそうです。

■6月 季節を先取り、スイカ割り

ある日、お土産にスイカをいただきました。大きさが人の顔3つ分ぐらいの立派なもので、これはスイカ割りをするしかない!ということになり、近所の緑地へ移動してスイカ割りを楽しみました。子どもが楽しそうなのはもちろんなのですが、大人もワクワクしているのが伝わってきました。大きなスイカだけあって、いくら食べてもくならない、幸せなひとときでした。



暑い日が続きます。芝の家の縁側でちょっと一息、夕涼みでもしていきませんか?

■7月 持ち寄り昼食会「もぐもぐ」

近所さんが集まって、交流する昼食会「もぐもぐ」を開催しました。12時ごろから集合し、手羽先と大根の煮物や肉団子、サラダ等、皆さんの心こもった料理を囲んでの楽しい昼下がりとなりました。初対面の人でも、料理を通して自然に会話が弾み、お互いの距離が近くなるようでした。今後も開催していく予定です。わいわい大勢で食事するのが好きな人、料理の腕を振りたい人、ぜひご参加ください。



■7月23日大暑 今日から打ち水週間

夏場にみんなで取り組める暑さ対策、打ち水。芝の家でも今日から8月23日(処暑)までの1か月間実施します。夕方、近くの緑地にある井戸から地下水を運んできて、ジョウロや柄杓、風呂桶を使って水まきをしてみたところ、涼しい風が吹くのを感じられました。道行く人からも「涼しい!」「見た目が涼やかでいい!」という声をいただくなど好評です。井戸水のほかに、芝の家に設置している天水樽や隣のお宅の防火水槽に溜まっている雨水、クーラーの室外機から出る水など様々な二次利用水を活用していく予定です。芝の家に集まる人たちのほかに、慶應義塾大学の環境サークルE.C.O.の有志が手伝いに来てくれて、楽しく続けていけそうです。

info 芝地区昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」 芝3-26-10 TEL 03-3453-0474
●月・火・木 11時〜16時開室
水・金・土 13時〜18時開室
●ウェブサイト <http://www.shibanoie.net/>



芝地区MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご利用ください。

- 1 新橋の親柱跡 1P
- 2 烏森神社 1P
- 3 日本テレビタワー「霊峰富士」1B
- 4 環二工務事務所 2P
- 5 オランダ王国大使館 2P
- 6 新橋 玉木屋 3P
- 7 御成門小学校 5P
- 8 新橋文化劇場 4-5P
- 9 平和の灯(区立芝公園) 4-5P
- 10 虎ノ門 JTビル 6P
- 11 元神明宮 6P
- 12 芝地区昭和の地域力再発見事業拠点「芝の家」 7P
- 13 戸板女子短期大学 7P
- 14 第一田町ビル 8P
- 15 オーストラリア大使館 8P
- 16 特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会 8P
- 17 浜松町駅北口駅前広場(ハマサイトの夏祭り会場) 8P
- 18 愛宕警察署 8P

三田の緑の杜にある現代建築と伝統の古社

一 御鎮座1005年例大祭を迎える元神明宮一

中之橋の交差点を折れ神明坂に入ると、櫛の緑の杜とコンクリート打ち放しの2つの円筒の塔に挟まれた建物の入口とガラス窓のモダンな建築が見え、その大きく高いガラス窓に、不思議と角度によって東京タワーが映っているのが見える。

2つの円筒の塔は大鳥居に見立てたもので、その横を過ぎ神明坂をさらにいくと左手に石垣が続いている。古に積まれたままの石垣の反が、美しく残っていて、その石垣の上に樹齢100年を超えるような二尋程ある櫛が何本か茂って、青々としている。

さらに坂を上り、左斜めに戻ると、杜に包まれる元神明宮神社の入口の鳥居がある。階段を上り、いくつかの鳥居をくぐると社殿が2階(円筒入口側からは4階)に見えてくる。ここで初めて、コンクリート打ち放しの円筒のある建物と神社が「一棟であることが分かる。平成6年(1994)の建て替え時に、建築基準法により大規模な木造建築が建てられず、また

敷地が傾斜地にあるため設計に工夫を重ねてコンクリート造りの大屋根が抱き込むようにして、すがすがしい木造社殿を入れ込んでいる。現代の美しい建築空間の建物であるが、木造社殿の梁に以前の江戸期社殿にあった「獅子」飾りが左右に組み込まれ、さらに樹齢800年で寿命を終えた御神木の櫛から作られた太鼓があり、社殿の伝統を維持している。

社伝によると、元神明宮(天祖神社)の創建は一条天皇勅命による寛弘2年(1005)で、伊勢神宮内宮に祀られる天照大御神を祭神としている。また、『江戸名所図会』には、小山神明宮として描かれている。境内には江戸城内にあった平河稻荷神社など7つの末社があるほど古い由緒を持っている。さらに、隣地には増上寺



「江戸名所図会」より 天保7年(1836) (港区郷土資料館所蔵)

火消後の筑後久留米藩(福岡)21万石上屋敷があり、神明坂を挟んで前に筑前秋月藩(福岡)5万石上屋敷があった。明治元年(1868)久留米藩の有馬邸が移転する際に、藩邸内の水天宮を分祀し、元神明宮本殿に相殿として祀っている。

平安時代の羅生門の鬼退治で名をせした渡辺綱や鎌倉時代の源頼朝等、江戸時代には徳川家から崇敬されたと伝えられる(註1)。そればかりでなく、地元との結びつきが強い神社で、昔、徳川家の命により天正年間(1573〜1592)に芝大神宮に御神体を遷そうとした時に、御神体を氏子が夜通しお守りしたと云われ、以来、芝大神宮を芝神明とし、この社を元神明と呼ぶこととなり、いずれも地域の氏神様として親しまれている(註2)。今回も地元の三田一丁目町会役員の堀利晃さんの御協力取材が実現した。

今年(平成22年)は、御鎮座1005年例大祭にあたり、宮司さんをはじめ、禰宜さんも平安時代の衣装で正装され、手に笏を持たれ、古式にのっとり、9月18日(土)午後6時、宮神輿御霊入れ、19日(日)午後1時半、宮神輿宮出し、宮神輿御霊返しなどのさまざまな祭事が執り行われ、その儀式に伝統文化の美しさを再発見できるであろう。

(文 ■ 森 明 / 写真 ■ 張 蘭 光輝)

註1、註2…元神明宮 元神明宮御由緒

- 取材協力: 元神明宮 禰宜 青木和 / 三田一丁目町会役員 堀利晃 (敬称略)

info 元神明宮 三田1-4-74

ビルの屋上でイチゴ狩り?

去る5月26日(水)、JR田町駅前の「第一田町ビル」の屋上でイチゴ狩りが行われました。都会の真ん中でイチゴ狩りを楽しんだのは、地域の保育園の3~4歳児12人です。天気予報は雨模様でしたが、なんとか天気もち、時おり陽も差し込むほどの好天候に恵まれました。



株式会社田町ビルの中村社長に話をお伺いしたところ、地球温暖化の防止と地域の方々に楽しんでいただくことを目的に昨年の5月から屋上緑化に取り組んでいるそうです。

info 第一田町ビル
芝5-33-8

菜園、花壇、芝生を合わせると約220m²もあり、このうち菜園は約20m²で、12月~5月がイチゴ、6月~11月がさつまいもとそれぞれ夏と秋に収穫できるように分けて育てているそうです。今後は菜園を徐々に広げ、地域の方々もお呼びしたいとのことでした。

イチゴ狩りを初めて体験する園児も多くみんな興味津々、まだ白い実を摘んでしまったり、入れ物のふたが閉まらないほどたくさん摘んだり、一生懸命に頑張っていました。イチゴを摘み終わった苗は、ビル側の計らいで実とともに園児たちにプレゼントされました。

最後は、自分たちで摘んだイチゴを手にして記念撮影。ビルの屋上のさわやかな風の中で、園児たちの顔も自信と喜びに満ちあふれていました。

オーストラリア大使館が“オープンデー”を開催



オーストラリア大使館では初めての試みとなる、地域の人々を大使館が招待する“オープンデー”が開催されました。

6月3日(木)午後3時から近隣の3町会(三田綱町自治会、三田一丁目町会、三田二丁目一交会)がオーストラリア大使館に招待され、約60名の方が参加しました。

会場には両国の国旗が掲げられ、アリスティア・マレー・マクレーン大使や代表の町会長さんのスピーチがあり、和気あいあいの雰囲気でも進みました。オーストラリア国についてのレクチャーを聞いた後はお庭に出てのガーデンパーティーです。オーストラリアの伝統的なお菓子「ラミントン」(チョコレートとココナッツでコーティングされた、四角い形のお菓子)もテーブルに並べられ、初夏の風を受けながらアフタヌーンティーを楽しみました。参加者から「大使館はふだん入れない所なので、今日はうれしい」という声も多く聞かれました。



ここは江戸時代、徳島に領地のあった蜂須賀家の敷地でした。昭和27年(1952)にオーストラリア政府がこの地を購入した当時は、ケンブリッジ大学への留学経験がある蜂須賀正韶侯爵・正氏父子が建てたイギリス風の邸宅がありました。平成2年(1990)にメルボルンの建築家によって事務棟、大使公邸、職員官舎が建てられ、モダンな現在の姿になりましたが、本館の裏手にある庭園には、イギリス風の東屋や、桐や鳳凰の模様が見える大きな灯笼に、蜂須賀家の面影が残っています。春には桜が見事に咲き誇ると、大使館公使・総領事でもあるビル・ジャクソン氏が説明してくださいました。

芝地区にはオーストラリアのほかにも大使館が9つあります。このような地域と大使館との交流がさらに深められ、地域での助け合いにもつながるといいですね。 [文■伊藤 泰子]



春には、庭園に見事な桜が咲き誇ります (写真提供: オーストラリア大使館)

info オーストラリア大使館
三田2-1-14

世界を知ろう!カンボジアを知ろう!! 国際協力実践講座に参加しませんか?

小山内美江子 国際ボランティア・カレッジでは、「JHP・学校をつくる会」代表小山内美江子の国際協力に対する理念と経験、並びにJHPが活動するカンボジアに関する知識を活かして、国際協力や国際理解、その他NGO等の理解に役立つ講座、またカンボジア研修など、学びと体験の場を提供しております。現在、第5期生を募集しています。

【日 程】2010年9月11日~2011年3月26日
【参加要件】18歳以上、原則カンボジア現地研修に参加可能な人
【定 員】30名 【主催団体】JHP・学校をつくる会
【開催場所】区内施設 【聴 講 生】1講座から受講可能な聴講生も随時募集しています。
※費用や手続き方法はホームページまたは事務局までお問い合わせください。

●問い合わせ先
特定非営利活動法人(認定NPO法人)JHP・学校をつくる会
小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ 事務局(担当:木村)
〒108-0014 東京都港区芝5-26-16 読売理工学院ビル6F
TEL03-6435-0812 / FAX03-6435-0813 / E-Mail: college@jhp.or.jp
URL: http://www.jhp.or.jp/college/index.html

第3回ハマサイトの夏祭り

今年も汐留ビルディングでは「ハマサイトの夏祭り」を開催します! 皆様のご来場をお待ちしております。



【日 時】8月27日(金)18時~21時30分
【場 所】浜松町駅北口駅前広場、汐留ビルディング外構
【イベント】グルメ屋台、盆踊り、ステージライブなど

「チーム・バチスタの栄光」の海堂尊氏が大いに語る

◆芝歯科医師会・麻布赤坂歯科医師会 創立90周年記念講演会
【日 時】11月20日(土)15時~16時30分
【場 所】赤坂区民センター(赤坂4-18-13 赤坂コミュニティーぶらざ内) 【参加費】無料
※往復ハガキによる応募が必要ですので下記までお問い合わせください。
●問い合わせ先 芝歯科医師会 TEL 03-3431-7716 / 麻布赤坂歯科医師会 TEL 03-3403-1402

「お口の健康フェスタ」開催

◆区長による8020達成者表彰 ◆港区立小・中学校の児童・生徒による研究発表
◆ゲスト: 歌手 奥華子さん(映画「時をかける少女」の主題歌「ガーネット」「初恋」)
◆お口に関する粗品も用意しております。
【日 時】10月23日(土)13時~17時
【場 所】高輪区民センター 【参加費】無料
●問い合わせ先 みなと保健所保健サービスセンター TEL 03-3455-4772
芝歯科医師会 TEL 03-3431-7716 / 麻布赤坂歯科医師会 TEL 03-3403-1402

シリーズ:在勤者の視点で防災を考える

9月1日(水)は防災の日 “日ごろから高めよう、防災意識” 手動蓄電タイプのラジオを持ちましょう!

大災害発生直後は混乱状態になり、不確実な情報や無責任なうわさが飛び交うことがあります。そんなときに役に立つのがラジオです。どこにも持ち運べて、それも停電時に手動で蓄電できるタイプのラジオです。携帯電話の充電もできるようになっていれば、さらに心強い味方になります。ラジオに限らず、防災の日を前に、わが家の防災グッズを点検しましょう。いざという時のために…。 [取材 ■川崎 望房]



「みなとコール」は 暮らしの疑問にお答えします!



区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。
年中無休/午前7時~午後11時
※英語での対応もいたします。

ゴヨウ(は)ナーニ ミナト(コールです)
TEL 03-5472-3710
FAX 03-5777-8752
Eメール: info@minato.call-center.jp

警視庁犯罪被害者 ホットライン

被害者や家族の相談窓口です。
迷わずに
勇気を出して
相談してください



匿名でもOK 秘密厳守 お気軽に

TEL 03-3597-7830
FAX 03-3592-6840
愛宕警察署

芝地区地域情報誌・編集委員を募集しています!



芝地区の話題を発掘し、取材していただく地域情報誌・編集委員(記者)を募集します

【対 象】芝地区管内に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人
【内 容】地域の話題の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年間4回発行予定)1回の取材などで平日の昼夜間に2時間程度、発行予定ごとに平日夜間、1回編集会議への参加があります。
【申し込み】氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所協働推進課まで、FAXまたは郵送でお申し込みください。
【そ の 他】報酬等の支払いはありません。

★本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
天津由理香/伊藤泰子/岩崎秀雄/川崎望房/清田和美/日下部理絵/桑原庸嘉子/小知和千佳子/小林真紀子/佐藤剛志/柴崎郁子/柴崎賢一/千葉みな子/張簡光輝/日尾佳世/森明
★今後の発行スケジュールは次の通りです。
H22.11.20発行(第17号)、H23.2.20発行(第18号)、H23.5.20発行(第19号)、H23.8.20発行(第20号)

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1~3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、区内各施設にて配布しています。